

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 25 年 4 月 25 日 (2013.4.25)

【公表番号】特表 2012-522306 (P2012-522306A)

【公表日】平成 24 年 9 月 20 日 (2012.9.20)

【年通号数】公開・登録公報 2012-038

【出願番号】特願 2012-503427 (P2012-503427)

【国際特許分類】

G 0 6 F 9/54 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 9/06 6 4 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 3 月 8 日 (2013.3.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 2】

プラグインを実行するためのコンピュータプログラムであって、
 実行されるプラグインの安定性レベルを取得するための機能と、
 少なくとも部分的に前記安定性レベルに基づいて、利用可能な複数のプラグイン実行モ
 ードから選択される、プラグイン実行モードを決定するための機能と、
 前記決定されたプラグイン実行モードに従って、前記プラグインを実行するための機能
 とをコンピュータによって実現させるコンピュータプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 9】

上記の実施形態は、明確な理解を目的として、ある程度詳細に記載したが、本発明は、
 提示した詳細に限定されるものではない。本発明を実施する多くの代替の方法がある。開
 示された実施形態は、例示であって、限定するものではない。

適用例 1：プラグインを実行する方法であって、実行されるプラグインの安定性レベル
 を取得することと、少なくとも部分的に前記安定性レベルに基づいて、利用可能な複数の
 プラグイン実行モードから選択される、プラグイン実行モードを決定することと、前記決
 定されたプラグイン実行モードに従って、前記プラグインを実行することと、を備える方
 法。

適用例 2：適用例 1 に記載の方法において、前記プラグインの安定性レベルは、記憶場
 所から取得される、方法。

適用例 3：適用例 1 に記載の方法において、前記複数のプラグイン実行モードは、利用
 可能な複数のプラグイン安定性レベルに対応している、方法。

適用例 4：適用例 1 に記載の方法において、前記複数のプラグイン実行モードは、複数
 のロード・プロセスに対応しており、前記決定されたプラグイン実行モードに従う前記
 プラグインの実行は、前記複数のロード・プロセスのうち、前記決定されたプラグイン実行
 モードに対応するロード・プロセスを起動させて、前記プラグインをロードすることを含
 む、方法。

適用例 5 : 適用例 4 に記載の方法において、前記プラグインの安定性レベルが安定である場合には、前記ロード・プロセスは共有ロード・プロセスである、方法。

適用例 6 : 適用例 4 に記載の方法において、前記プラグインの安定性レベルが普通である場合には、前記ロード・プロセスは独立ロード・プロセスである、方法。

適用例 7 : 適用例 4 に記載の方法において、前記プラグインの安定性レベルが不安定である場合には、前記方法は、前記プラグインの実行を停止させることをさらに備える、方法。

適用例 8 : 適用例 4 に記載の方法において、前記プラグインの安定性レベルが不安定である場合には、前記方法は、前記プラグインの異常情報を取得および保存することをさらに備える、方法。

適用例 9 : 適用例 8 に記載の方法において、前記異常情報は、前記プラグインの異常動作の理由と、前記プラグインのプラグイン情報とを含む、方法。

適用例 10 : 適用例 1 に記載の方法はさらに、前記プラグインの安定性レベルを調整することを備える、方法。

適用例 11 : 適用例 10 に記載の方法において、前記プラグインの安定性レベルの調整は、前記プラグインが所定期間の間に異常動作した回数を決定することと、前記プラグインが所定期間の間に異常動作した回数の前記決定に少なくとも部分的に基づいて、前記プラグインの安定性レベルを調整することと、を含む、方法。

適用例 12 : プラグインを実行するシステムであって、1つまたは複数のプロセッサであって、実行されるプラグインの安定性レベルを取得し、少なくとも部分的に前記安定性レベルに基づいて、利用可能な複数のプラグイン実行モードから選択される、プラグイン実行モードを決定し、前記決定されたプラグイン実行モードに従って、前記プラグインを実行するように構成されている、プロセッサと、前記1つまたは複数のプロセッサに結合された1つまたは複数のメモリであって、前記1つまたは複数のプロセッサに命令を提供するように構成されているメモリと、を備えるシステム。

適用例 13 : 適用例 12 に記載のシステムにおいて、前記プラグインの安定性レベルは、記憶場所から取得される、システム。

適用例 14 : 適用例 12 に記載のシステムにおいて、前記複数のプラグイン実行モードは、利用可能な複数のプラグイン安定性レベルに対応している、システム。

適用例 15 : 適用例 12 に記載のシステムにおいて、前記複数のプラグイン実行モードは、複数のロード・プロセスに対応しており、前記決定されたプラグイン実行モードに従う前記プラグインの実行は、前記複数のロード・プロセスのうち、前記決定されたプラグイン実行モードに対応するロード・プロセスを起動させて、前記プラグインをロードすることを含む、システム。

適用例 16 : 適用例 15 に記載のシステムにおいて、前記プラグインの安定性レベルが安定である場合には、前記ロード・プロセスは共有ロード・プロセスである、システム。

適用例 17 : 適用例 15 に記載のシステムにおいて、前記プラグインの安定性レベルが普通である場合には、前記ロード・プロセスは独立ロード・プロセスである、システム。

適用例 18 : 適用例 15 に記載のシステムにおいて、前記プラグインの安定性レベルが不安定である場合には、前記1つまたは複数のプロセッサは、さらに、前記プラグインの実行を停止させるように構成されている、システム。

適用例 19 : 適用例 15 に記載のシステムにおいて、前記プラグインの安定性レベルが不安定である場合には、前記1つまたは複数のプロセッサは、さらに、前記プラグインの異常情報を取得および保存するように構成されている、システム。

適用例 20 : 適用例 12 に記載のシステムにおいて、前記1つまたは複数のプロセッサは、さらに、前記プラグインの安定性レベルを調整するように構成されている、システム。

適用例 21 : 適用例 20 に記載のシステムにおいて、前記プラグインの安定性レベルの調整は、前記プラグインが所定期間の間に異常動作した回数を決定することと、前記プラグインが所定期間の間に異常動作した回数の前記決定に少なくとも部分的に基づいて、前

記プラグインの安定性レベルを調整することと、を備えている、システム。

適用例 2 2：プラグインを実行するためのコンピュータプログラム・プロダクトであって、前記コンピュータプログラム・プロダクトはコンピュータ読み取り可能な記憶媒体に埋め込まれ、実行されるプラグインの安定性レベルを取得し、少なくとも部分的に前記安定性レベルに基づいて、利用可能な複数のプラグイン実行モードから選択される、プラグイン実行モードを決定し、前記決定されたプラグイン実行モードに従って、前記プラグインを実行するためのコンピュータ命令を含む、コンピュータプログラム・プロダクト。